

海外贈賄防止規制の最新動向と場面別贈賄防止対策の実践手法

～主要国贈賄防止規制のアップデート、日弁連ガイダンス、
腐敗防止条項モデル条項の解説を含めて～

【開催要領】 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ 2017年 9月 14日 (木) 13:30～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム (東京：麹町)

【ご参加頂きたい方】

法務部門、監査部門、総務部門、海外事業部門、経理部門など関連部門のご担当者

講師 真和総合法律事務所 パートナー弁護士 高橋 大祐 氏

弁護士 (日本) / 法学修士 (米・仏・独・伊)。企業・金融機関に対し、海外贈賄防止をはじめとするグローバルコンプライアンス・CSR・危機管理に関する案件のほか、社内規程整備・社内研修などの内部統制システム整備の支援も担当。日弁連弁護士業務改革委員会 CSR と内部統制プロジェクトチーム副座長として、日弁連「海外贈賄防止ガイドライン (手引)」の策定にも関わる。国際法曹協会 CSR 委員会オフィサー、早稲田大学日米研究所招聘研究員、JETRO アジア経済研究所ビジネスと人権研究会委員、上智大学法学部非常勤講師なども務める。<関連論文> 「日弁連海外贈賄防止ガイドライン (手引)」の解説 序論 (NBL1081 号)、「経産省指針改訂をふまえた海外贈賄防止対策の強化」(ビジネス法務 2016 年 1 月号特集)、「中小企業の海外展開における贈賄防止対策の強化」(会社法務 A22 2016 年 11 月号特別寄稿)、「The Japanese Anti-Bribery Landscape and Collective Actions」(IACALumnus2016 年 12 月号特集、International Anti Corruption Academy)、「海外贈賄リスク対処のための法的技術とその限界を踏まえた実務対応」(NBL1039 号) など多数。

【申込書送付先】 FAX▶ 03-5215-0951 ※当会 HP からもお申し込み頂けます。企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・資料代込) ※申込書を FAX でご送信いただく際は、FAX 番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	34,560円 (本体価格 32,000円)	一般	37,800円 (本体価格 35,000円)
-----	------------------------	----	------------------------

171632-0303 (※) 海外贈賄防止規制の最新動向と場面別贈賄防止対策の実践手法			
ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 役	属 職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■参加要領: 当会ホームページからお申込み下さい。FAX、または下記担当者 E-mail からもお申し込み頂けます。後日 (開催日 1 週間～10 日 前までに) 受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問 (FAQ) は当会 HP にてご確認ください。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F

開催にあたって

【講師より】

隣国韓国での贈収賄スキャンダルは、贈賄への関与が企業グループの解体につながりかねない重大なリスクとなることを改めて認識させる契機となった。現在、米国 FCPA (海外腐敗行為防止法) や英国贈収賄法をはじめ世界各国で海外贈収賄規制の域外適用が強化されており、日本企業も巨額の制裁金が課される危険性が高まっている。日本でも、外国公務員贈賄罪の執行体制が強化されているのに加え、経産省指針の改訂や日弁連海外贈賄防止ガイドライン (手引) の発表などを通じて、日本企業は、海外贈賄防止対策の強化が求められている。さらに、中国、韓国、東南アジア、ブラジル、メキシコをはじめとする日本企業の進出先においても現地の腐敗防止規制が強化され、執行が活発化している。

そこで、本セミナーでは、以上のような海外贈収賄規制の最新動向を解説する。企業が、その活動の各場面においてどのように海外贈収賄防止コンプライアンスを実践すべきか、改訂経産省指針や日弁連ガイドラインをふまえた現実的かつ効果的な対応策を、場面別の事例に即して、具体的に紹介する。腐敗防止条項モデル条項についてもコメントールを配布の上解説を行う。

プログラム

1 海外贈賄防止規制の最新動向

- (1) 米国 FCPA の概要の執行状況 ートランプ政権下での動向の分析を含めて
- (2) 英国贈収賄法の概要と動向
- (3) 日本・外国公務員贈賄罪の概要と動向
- (4) その他注目すべき主要国腐敗防止規制の動向
ー中国・韓国・東南アジア・ブラジル・メキシコ・フランス等
(セミナー当日までの最新動向をふまえて解説)

2 経産省指針・日弁連ガイダンスをふまえた対応策

- (1) 経産省指針改訂のポイント
- (2) 日弁連ガイダンスのポイント・意義・活用方法
- (3) 経産省指針・日弁連ガイダンスをふまえた内部統制システムの構築ステップ

3 場面別事例からみる贈賄防止対策の実践方法

- (1) 外国公務員等への接待贈答
- (2) コンサルタント・JV パートナーなど第三者の管理 ー腐敗防止条項モデル条項の解説
- (3) 外国公務員等の不当要求に対する対応
- (4) ファシリテーション・ペイメントへの対応
- (5) 商業賄賂への対応
- (6) 贈賄発覚時における危機管理対応
- (7) 海外子会社の管理
- (8) 企業買収
- (9) 社内研修

※講師とご同業の方のお申し込みはお断りする場合がございます。
※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。